

令和5年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年: 人間と社会)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	・「人間と社会」の意義と学習活動の説明 *はじめに *序「人間と社会～学習の視点～」	・「人間と社会」の意義について学ぶ ・課題解決のプロセスを確認する。素朴な疑問から興味・関心を深め、自らの「問い」として設定することを学ぶ。	「人間と社会」に関する基礎的な知識・理解、探究について学んだ後、ワークシートにまとめて提出させる。 【課題意識】 【主体的な取組】	1
					3
	5	*12「支え合う社会」	・支えあう社会について学び、支えあうことについて議論する。	【課題意識】 【主体的な取組】	3
	6	*13「地域社会を築く」 八王子市役所と連携した「八王子市の未来を考える」社会科学探究	・地域社会を築くことについて学び、地域社会を築くために大切な考えについて議論する。 ・地域の人々の話を聞いたり、現地調査を通して情報収集し、地域の状況について整理・分析をする。 ・Web・文献・現地調査での情報を比較し、イメージマップ等を利用して、共通点と相違点を明らかにし、八王子市の課題を複数の角度から捉えて、テーマを決定する。	体験活動の意義や、我々を取り巻く様々な課題を考えさせ、課題設定をさせる。 【課題意識】 【主体的な取組】 【行動変容】	2
					2
					2
	7		フィールドワーク計画をワークシートにまとめる	実際の自分の立場に置き換え、情報収集し、課題解決の中間整理を行う。 【行動変容】 【情報整理・分析】 【主体的な取組】 【行動変容】 【社会貢献】	2
	9	*最終章「人間と社会～これからの生き方～」 *おわりに	・八王子市役所と連携して、テーマ分野ごとの講演会やワークショップ等の実施。 ・自ら設定した課題から体験活動を照し合わせて、発展的な課題解決を図る。 ・どのような方法で八王子市の課題を解決するのか、グループごとに考え、フィールドワークによる根拠収集。 ①学校周辺の現場の視察。 ②学校周辺の自治会等の対話。 ・八王子市の課題の提言内容をフィールドワークのデータ整理・分析からまとめて、提言考察。 ・提言内容のプレゼンテーションの作成作業。	地域に対する貢献意識の醸成 【課題意識】 【社会貢献】	4 事前学習
	10				
	11				
	12				
	1				③
	2				4
	3				2 事後学習
配当時間数の合計					35 演習 23 時間 体験活動 12 時間